



# 一般社団法人 鹿児島県住宅産業協会 KAJUKYO

鹿住協だより Vol. 9  
2016年 9月号

【事務局】  
〒890-0073 鹿児島市宇宿2丁目1-8 日米石油ビル  
TEL 099-285-0101 FAX 099-285-0122

## 熊本地震に関する緊急セミナー



熊本地震の被害状況など説明する小尾所長

県住宅産業協会（逆瀬川勇理事長）は9月15日、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで熊本地震に関する緊急セミナーを開催した。会員や一般から約100人が参加。建物や地盤に起因する被害の状況、鹿児島県における地盤と地震のリスクについて認識を深めた。



地盤リスク等を理解した参加者

逆瀬川理事長は、「住宅産業に関わる者として、今後のまちづくり、家づくりの参考にしてほしい」と挨拶。同日は、ジャパンホームシールド株式会社地盤技術研究所の小尾英彰所長が講師を務め、熊本地震の被害調査状況を報告。小尾所長は「活断層が東西方向へ動く横ずれ地震で、大きな地震と余震が多発している点が特長」と述べた上で、「活断層に並行するように筋状に建物被害が集中しており、地盤の液状化や崖・擁壁の倒壊、盛土の破壊が目立った」と地震の概要と特長を説明した。

また、鹿児島エリアの地形・地質からみる地盤の状況については、「沖積低地が狭く、軟弱地盤が少ないため液状化の危険度は低い、火山性の台地、丘陵地が多いので土砂災害の危険性が高い」と解説。このほか、地震によって発生する住宅トラブルにも触れ、「建築事業者は住宅のプロ。お施様にしっかり説明を行い、災害に関わる重要な選択肢は必ず提示し、合意事項は書面で残すように」と注意を促した。

## 2016年 9 月度定例会



定例会の冒頭で挨拶する逆瀬川勇理事長

定例会では冒頭、逆瀬川理事長が「本県も三反園訓新知事の体制で大きく改革、革新していくものと考えられる。われわれ協会も各種研修会をはじめ、情報交換を図りながら県土の発展に取り組んでいきたい」また、「会員も6社増え77社となりました。目標とする80社を目指して、協力して取り組んでほしい」と呼び掛けた。

岩下克己戸建住宅委員長の乾杯の発声で開宴。参加者らは、互いに杯を酌み交わし、意見交換を行うなど親睦を図った。また、各委員会からの報告および新規会員6社の紹介があったほか、南フレーム工販（泊俊昭社長）がオブザーバーとして参加した。



岩下戸建住宅委員長の発声で乾杯

### 新規入会員

introduce

新たに6社が入会



## 建設業のためのアジア実習生採用説明会

羽ばたくアジアの若者たちを受け入れませんか

タイ、ベトナム、インドネシア3カ国の政府による厳しい選考がなされた立派な人材です。鉄筋工、型枠工、配管工、塗装工、建築大工など22種類

講師：公益財団法人 国際人材育成機構(略称/アイム・ジャパン)

日時 平成28年11月17日(木)  
場所 鹿児島サンロイヤルホテル(鹿児島市与次郎)  
受付 18:00~ 説明会 18:30~19:00  
定例会 19:00~21:00



ベトナムにおける事前講習